

歴代最年少
受賞
9歳11か月

第66回全日本学生音楽コンクール全国大会 in 横浜 横浜市民賞受賞者10人が決定

更に全国大会1位入賞者が、プロのオーケストラと一緒に
『生きる～若い命を支えるコンサート』に出演します！

オケの中に入っ
て演奏するの
は、今回が初！

1 横浜市民賞受賞者決定

クラシック音楽における国内最高峰の学生コンクールである「全日本学生音楽コンクール」の全国大会が、11月29日（木）から12月4日（火）まで、横浜みなとみらいホール 小ホールで開催されました。

市民225人の投票により、各部1名計10人に横浜市民賞が贈られることが決定しました。

ピアノ部門小学校の部及びバイオリン部門小学校の部の受賞者は、共に9歳11か月（小学4年生）で歴代の横浜市民賞受賞者の中では、最年少の受賞となります。

「横浜市民賞」とは

2007年から全国大会が横浜で毎年開催されることを記念して創設された賞。

ピアノ、バイオリン、フルート、声楽の各部で公募により集まった市民（市民賞選定員）の投票により決定されるものです。市民賞選定員は、コンクールの各部において、自分自身の感性で、「最も感動した演奏」、「今後も応援したい演奏」の出場者1人を選び、コンクール会場で投票します。

受賞者には、今後、横浜市内で開催されるクラシック・ヨコハマなどのコンサートへの出演機会が提供されます。

◆横浜市民賞受賞者一覧（敬称略）

部門	部	氏名	学校名・学年
ピアノ部門	小学校の部	ちば ももか 千葉 百香	神奈川県・湘南白百合学園小学校4年 ※歴代最年少9歳11か月
	中学校の部	たけざわ ゆうと 竹澤 勇人	北海道・札幌市立手稲中学校3年 (全国大会 第2位)
	高校の部	しんしょう りょうま 新庄 龍馬	北海道・北海道札幌北高等学校2年 (全国大会 第1位)
バイオリン部門	小学校の部	かわい ゆうじん 河井 勇人	東京都・千代田区立番町小学校4年 ※歴代最年少9歳11か月 (全国大会 第3位)
	中学校の部	ふくだ れんのすけ 福田 廉之介	岡山県・赤磐市立桜が丘中学校1年 (全国大会 第2位)
	高校の部	うちお あやか 内尾 文香	大阪府・府立北千里高等学校1年 (全国大会 第1位)
声楽部門	高校の部	やまだ こうや 山田 晃也	鹿児島県・県立松陽高等学校3年 (全国大会 第2位)
	大学の部	しろむら さち 城村 紗智	東京都・東京音楽大学大学院1年
フルート部門	中学校の部	わきざか ふう 脇坂 颯	兵庫県・宝塚市立光ガ丘中学校1年
	高校の部	くどう みゆき 工藤 美幸	東京都・東京音楽大学付属高等学校2年

裏面あり

2 全国大会1位入賞者が、プロのオーケストラと一緒に『生きる～若い命を支えるコンサート』に出演します

次世代を担う学生の皆さんに演奏機会を提供するために、全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜及び全日本学生音楽コンクール東京大会において入賞した5名が、12月22日（土）横浜みなとみらいホールで開催される、「生きる～若い命を支えるコンサート」に出演します。

出演する入賞者のうち4名は、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラメンバーの一員として、堤剛さん（チェロ）がソロを担当するチェロ協奏曲を演奏します。当コンクールの入賞者がプロのオーケストラに入り演奏するのは、今回が初めてとなります。

この他、バイオリン部門中学校の部で1位となった吉田南さんがソリストとして、バイオリン協奏曲を演奏します。

◆生きる～若い命を支えるコンサート

日時：平成24年12月22日（土）15時開演

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

出演：堤剛（チェロ）、梯剛之（ピアノ）

高関健（指揮）、神奈川フィルハーモニー管弦楽団

第66回全日本学生音楽コンクール入賞者から
バイオリン協奏曲 ソリスト（1名）

バイオリン部門中学校の部1位 ^{よしだみなみ} 吉田南さん
チェロ協奏曲 出演（4名）

バイオリン部門高校の部1位 ^{うちおあやか} 内尾文香さん

フルート部門高校の部1位 ^{おおたけな} 大竹菜緒さん

チェロ部門高校の部1位 ^{りさ} グレイ理沙さん

チェロ部門大学の部1位 ^{ひつもとる} 櫃本瑠音さん

※チェロ部門は東京大会のみ



吉田南さん（毎日新聞社提供）

曲目：チェロ協奏曲 口短調 作品104（ドヴォルザーク）

《ソリスト 堤剛さん（チェロ）》

ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11（ショパン）

《ソリスト 梯剛之さん（ピアノ）》

バイオリン協奏曲 第1番から第3楽章（ブルッフ）

《ソリスト 吉田南さん（バイオリン）》

お問い合わせ先

文化観光局文化振興課長 渋谷 昭子 Tel 045-671-3703